RF　ルーフ

準備品 2
・油脂類 2
サンルーフ 3
・作業上の注意 3
・システム概要 3
・構成部品取付位置 3
・回路図 4
・サンルーフスイッチ入出力信号基準値 4
・ウインドディフレクター点検 4
・サンルーフリッドウエザーストリップ点検.... 5
・リンク及びワイヤ ASSY 点検 5
・建付調整 5
・取り外し、取り付け 7

準備品

PFP:00002

油脂類

JIS0019A

名称	用途	備考
ボディグリース（300ml スプレー 式） KRH05 00030	• ウインドディフレクターしゅう動部塗布	各日産部品販売会社
ＭＰ スペシャルグリース No.1 KRB00 12025	• サンルーフリンク & ワイヤしゅう動部塗布 • サンルーフレールしゅう動部塗布	
ブチルテープ KA430 89992	• サンルーフリッドウエザーストリップシール	

サンルーフ

PFP:91210

作業上の注意

JIS0019B

- サンルーフモーター作動音はするが、サンルーフが作動しない場合、ガラスリッドを全閉状態でモーター ASSY 交換を行うこと。
- サンルーフスイッチ操作でサンルーフ（ガラスリッド、モーター）が作動しない場合は、ラゲッジルームランプ前のカバーを外し、モーターギヤボックス駆動軸をエマージェンシーハンドル（車載工具）で回転させガラスリッドを手動で開閉作動させる。

システム概要

JIS0019C

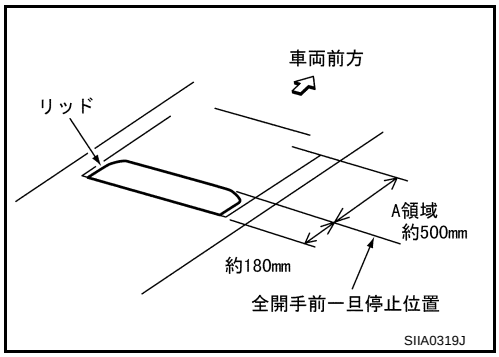
- サンルーフスイッチによりガラスリッド開閉作動、チルト UP·DOWN 作動が可能。
- サンルーフスイッチを OPEN 側に強く押すとガラスリッドがオート開作動し、全閉手前 180mm 位置でオート作動が停止する。

注意： エマージェンシーハンドルを使用し、手動でモーター駆動軸を回転させた場合、サンルーフスイッチ操作とガラスリッド作動が一致しない場合があるため、通常作動への復帰操作を行うこと。

復帰操作

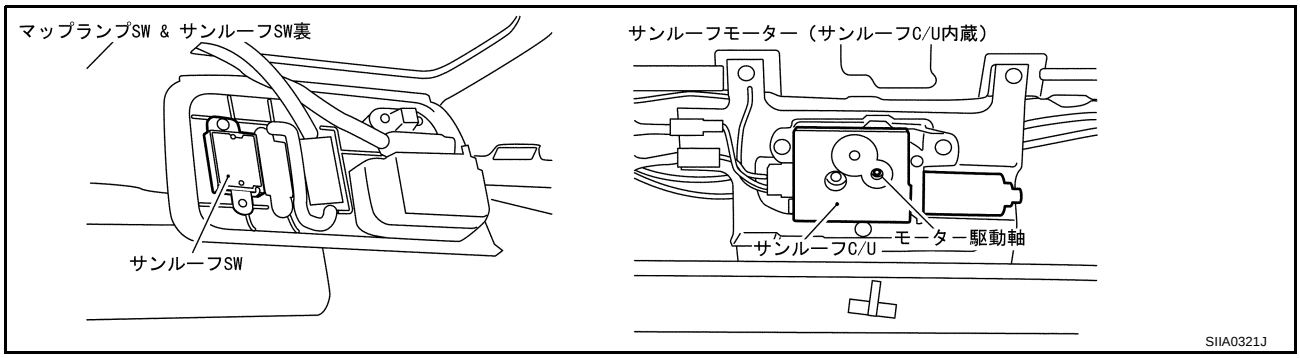
- サンルーフスイッチ操作とガラスリッド作動が一致しない場合は、サンルーフスイッチを操作し、ガラスリッドを図中 A の領域までスライド作動させることにより、通常作動へ復帰する。

注意： 通常作動に復帰するまではサンルーフスイッチ操作と実際のガラスリッド作動が異なる場合があるためサンルーフより手や頭を出していないことを確認し、復帰操作を行うこと。



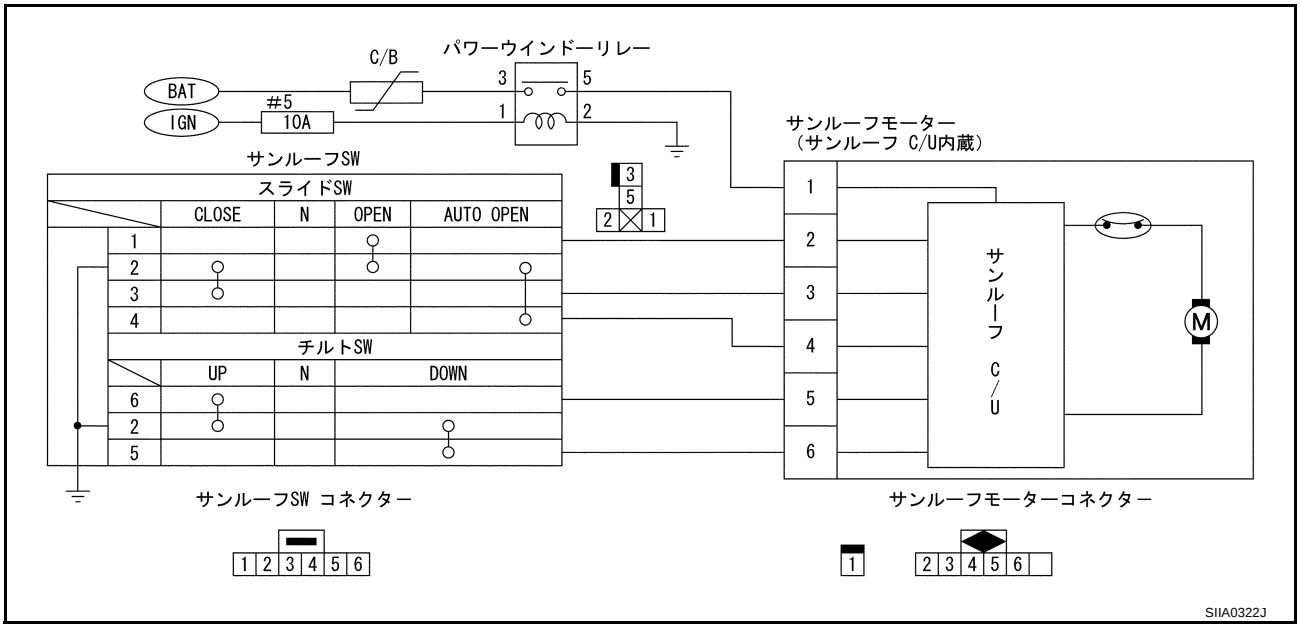
構成部品取付位置

JIS0019D



回路図

JIS0019E



サンルーフスイッチ入出力信号基準値

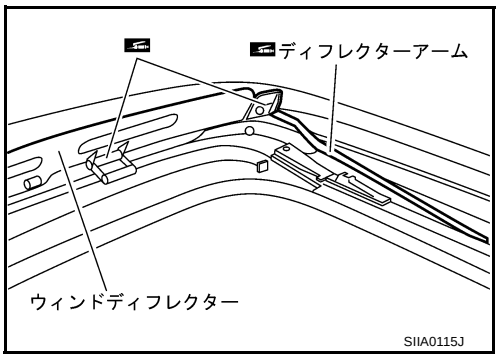
JIS0019F

端子番号	信号名称	キーSW	操作	基準値（V）
1	サンルーフ OPEN 信号	ON	サンルーフ SW OPEN 操作	約 12→約 0
2	アース	ON	—	約 0
3	サンルーフ CLOSE 信号	ON	サンルーフ SW CLOSE 操作	約 12→約 0
4	サンルーフ AUTO OPEN 信号	ON	サンルーフ SW AUTO OPEN 操作	約 12
5	サンルーフチルト DOWN 信号	ON	サンルーフ SW チルト DOWN 操作	約 12→約 0
6	サンルーフチルト UP 信号	ON	サンルーフ SW チルト UP 操作	約 12→約 0

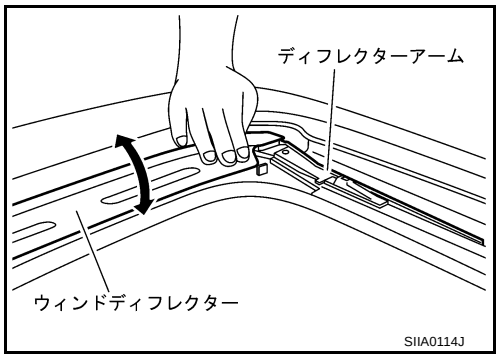
ウインドディフレクター点検

JIS0019G

1. ガラスリッドを開ける。
2. 取付状態が正しいか目視で点検する。
3. ウインドディフレクターの連結部にグリースが適量塗布されているか点検し、必要に応じ塗布する。



4. ウインドディフレクターが正しくせり上がるか手動で点検し、不良ならば取り外して目視で点検する。損傷があれば、新品と交換する。損傷がなければ正しく取り付けなおす。



サンルーフリッドウエザーストリップ点検

JIS0019H

ガラスリッド周りの水漏れがある時は、ガラスリッドを閉めて水をかけ、損傷部位や隙が発生している部位を見つける。

1. ガラスリッド ASSY を外す。
2. ウエザーストリップに損傷、劣化、変形がないか、目視で点検する。不具合があればガラスリッド ASSY を交換する。

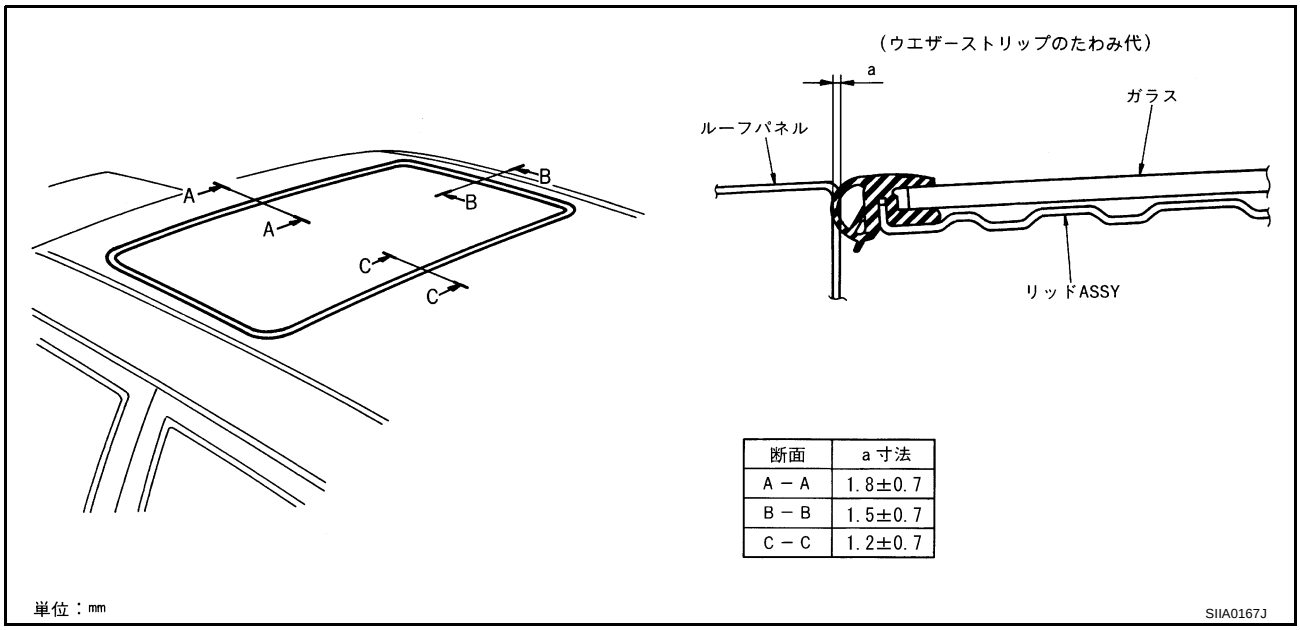
リンク及びワイヤ ASSY 点検

JIS0019I

1. リンクのコーティングが素材が見えるほど剥がれ、異音が発生しているときは交換する。
2. ワイヤやレールの溝にグリースが充填塗布されているか、目視で確認し必要に応じ追加する。

建付調整

JIS0019J



断面	a 寸法
A － A	1.8±0.7
B － B	1.5±0.7
C － C	1.2±0.7

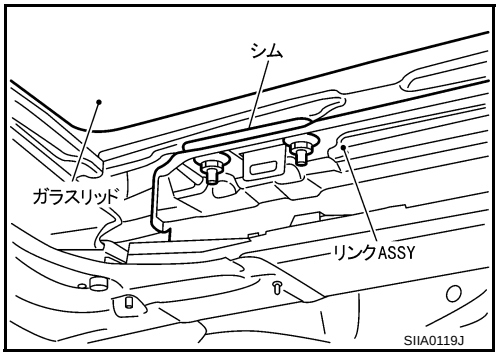
前後、左右すき間調整

1. ガラスリッドをチルトアップさせ、サイドトリムを取り外す。
2. ガラスリッド取付ナット（左右各 4 個所）を緩めた後、ガラスリッドをチルトダウンさせる。
3. ガラスリッドを図断面 A–A、B–B、C–C となるように調整する。
4. ガラスリッドを調整後、ナットを規定トルクで締め付ける。
5. ガラスリッドを 4、5 回チルトさせ、スムーズに上下するか点検する。

面差調整

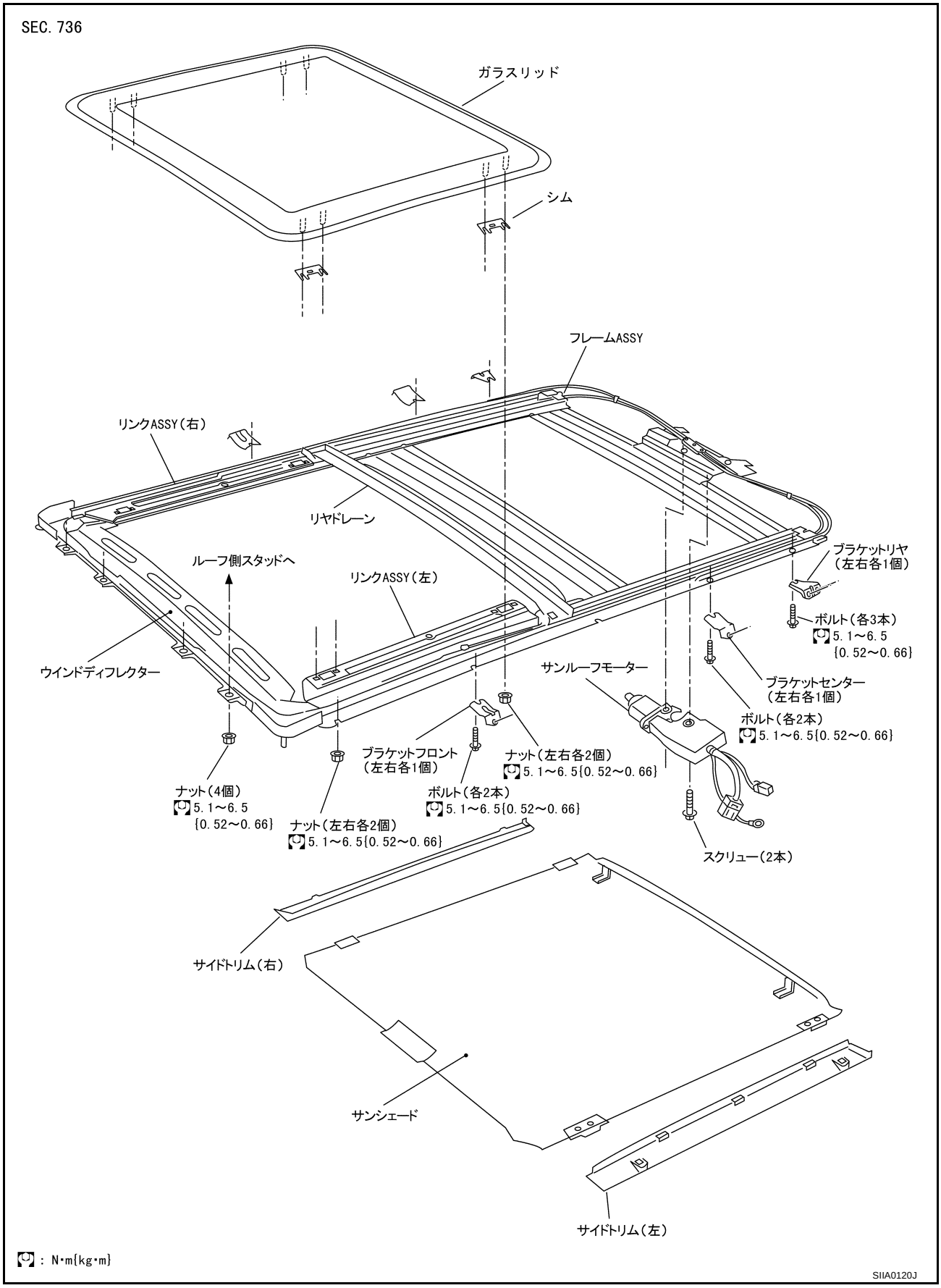
1. **ガラスリッドとルーフパネル間の面差が** 0 ± 1.5mm **となるように ガラスリッドとリンク** ASSY **間のシム枚数で調整する。(基準** 2 **枚、最大** 4 **枚)**

2. **建付調整後はホースでルーフ全体に水を流しながら、水漏れ試験を行うこと。**



取り外し、取り付け

JIS0019K



サンルーフユニット

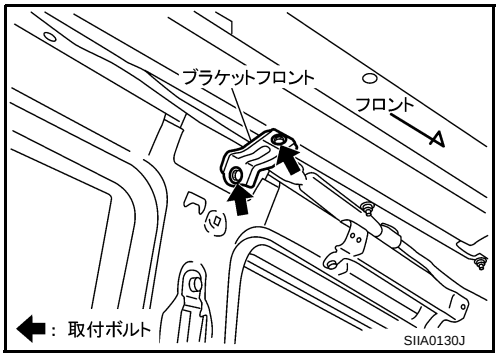
取り外し

注意：・サンルーフユニット脱着は 2 人作業で行うこと。

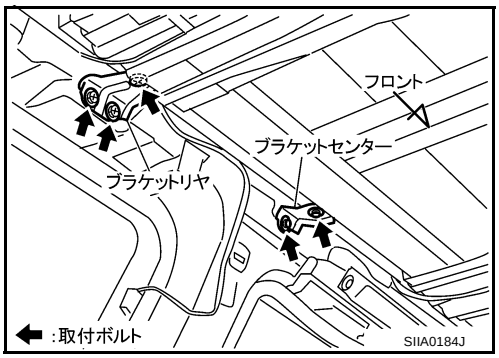
・サンルーフユニット取り出し時は、シート、トリム類をウエス等で保護し、傷つき防止を行うこと。

・サンルーフユニット及びガラスリッド取り付け後、必ず水漏れ試験を行い、異常がないことを確認すること。

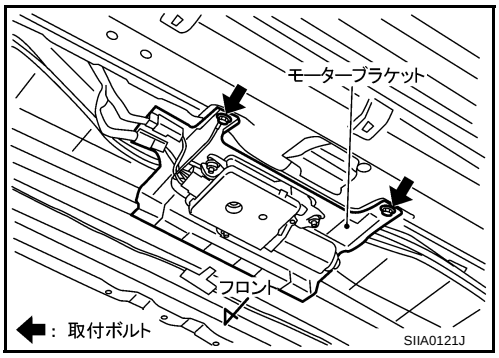
1. ヘッドライニングを取り外す。「EI 外装、内装」「取り外し、取り付け」(EI-29 ページ) を参照。
2. ドレーンホース（4 本）を分離する。
3. ルームランプハーネスを分離する。
4. サンルーフブラケットフロントの車体側及びユニット側取付ボルトを外す。



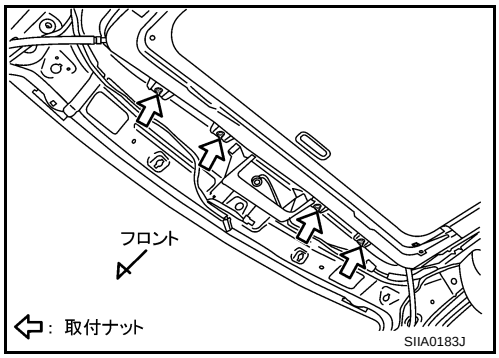
5. サンルーフブラケットセンター、リヤの車体側及びユニット側取付ボルトを外す。



6. モーターブラケット部取付ボルトを外す。

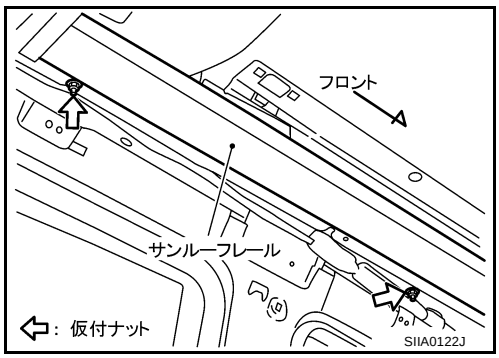


7. 前端部及び側面レール部の取付ナットを外し、サンルーフユニットをルーフパネルより外す。
8. シート、トリム類に傷を付けないように注意しながら、サンルーフユニットを車外に取り出す。



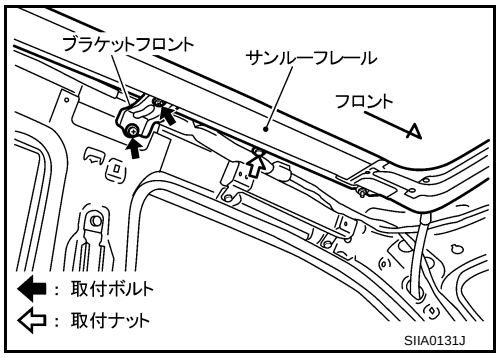
取り付け

1. サンルーフユニットを室内に入れた後、側面部のレール部取付ナット前側基準点より左右各 2 個を締め付ける。
2. 前端部の取付ナットを締め付ける。（4 個）



3. サンルーフブラケットフロントをレール下面及びルーフサイド取付面に合わせボルト止めの後、ルーフサイド側をボルト止めする。
4. サンルーフブラケットセンター及びリヤをレール下面及びルーフサイド取付面に合わせボルト止めの後、ルーフサイド側をボルト止めする。

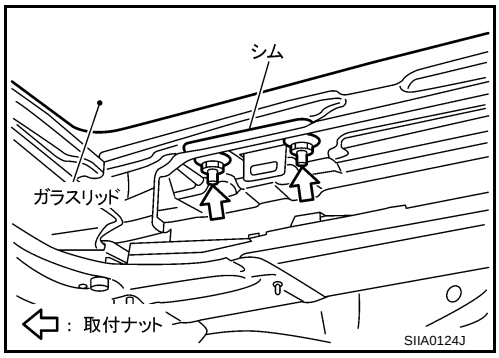
   注意： ルーフ表面にゆがみがないように均等に取り付けること。
5. モーターブラケット部をボルト止めする。
6. ルームランプハーネスを接続する。



ガラスリッド

取り外し

1. ガラスリッドをチルトアップする。
2. サイドトリムを取り外す。
3. ガラスリッドとリンク間のシム枚数を確認し、取付ナットを外してガラスリッドを取り外す。



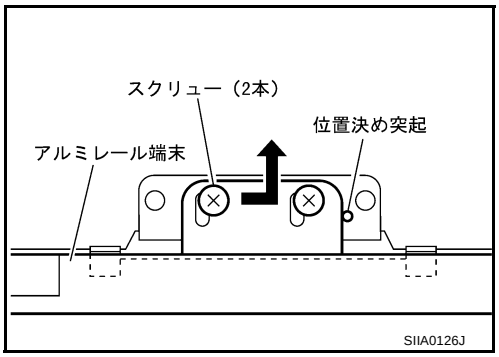
取り付け

1. ガラスリッドは対角にナットを締め付ける。
2. 取り付け後、建付調整を行う。

サンシェード

取り外し、取り付け

1. ガラスリッドを取り外す。
2. リヤドレーンを取り外す。
3. リンク ASSY を全開位置にする。
4. 前方左側シェードスライダーの取付スクリュー（2 個所）を緩める。
5. 図のようにシェードスライダーをずらし、スライダーをアルミレールから外す。
6. シェードを左側に回転させ、右側のシェードスライダーもアルミレールから外す。
7. シェードを前方にずらし、後方のシェードスライダーも前方と同様に外す。
8. 取り付けは取り外しの逆の手順で行う。

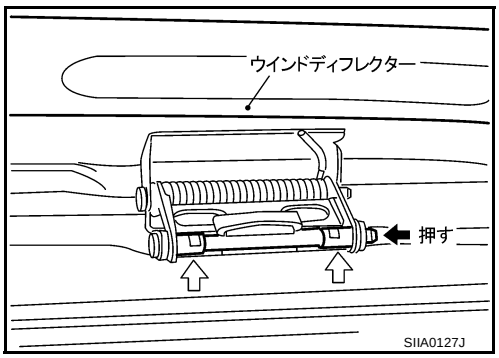


ウインドディフレクター

取り外し、取り付け

1. ディフレクターアーム取付スクリューを外す。（左右各 2 本）
2. 先の尖ったものでブッシュのツメを起こす。（左右各 2 個所）

   注意： ツメを起こしたブッシュは再使用不可。
3. シャフトを押して抜く。
4. 取り付けは取り外しの逆の手順で行う。

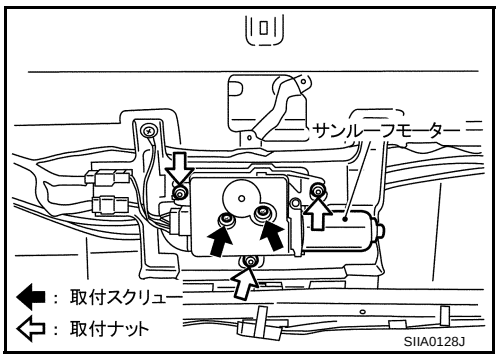


サンルーフモーター

取り外し

1. ヘッドライニングを取り外す。
2. モーター取付スクリュー及び取付ナットを外す。
3. ハーネスコネクターを外し、サンルーフモーターを取り外す。

注意：
- サンルーフモーターの取り外しはサンルーフ全閉状態で行うこと。
- 取り外したモーターは単品では絶対に回転させないこと。



取り付け

1. モーターのギヤがサンルーフユニット部のワイヤに完全に噛み合うよう左右に少しずつ動かし取付面が平行になるようになじませながらモーターをスクリュー及びナットで固定する。

注意： リンク及びワイヤ ASSY を左右対称の全閉位置にしてからモーターを取り付けること。